

科目名	BIM IV							
科目名(英)	Building Information Modeling							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	道脇 力	
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	建築CAD科 2年							
授業概要	課題作成を通じた実践的な表現技術の習得と、各用途の建築設計的な理解と表現を目指す。							
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				チームワーク機能を効果的に活用してモデリングを行うことができる。		
	○	○				課題に必要な情報収集を行うことができる。		
		○	○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。		
			○			BIMワークフローにより効率よく設計ができる。		
		○	○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。		
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1 2	課題: 認定こども園				コンセプトがまとまらなかったチームは、次週までに方向性を決めておくこと。		
	3 4	課題: 認定こども園				チーム情報を共有し、作業を進めておくこと。		
	5 6	課題: 認定こども園				チーム情報を共有し、作業を進めておくこと。		
	7 8	課題: 認定こども園				チーム情報を共有し、作業を進めておくこと。		
	9 10	課題: 認定こども園				チーム情報を共有し、作業を進めておくこと。		
	11 12	課題: 認定こども園				チーム情報を共有し、作業を進めておくこと。		
	13 14	課題: 認定こども園				中間プレゼンに必要な資料が何かを確認しておくこと。		
	15 16	課題: 認定こども園				次週の中間プレゼンに向けて必要資料をまとめ、プレゼン準備を行うこと。		
	17 18	課題: 認定こども園 中間プレゼン				中間プレゼンの総評を元に、チームの進行状況を確認。作業を進めておくこと。		
	19 20	課題: 認定こども園				総評を元に、作業を進めておくこと。		
	21 22	課題: 認定こども園				作業を進めておくこと。		
	23 24	課題: 認定こども園				タイムスケジュールの確認を行うこと		
	25 26	課題: 認定こども園				タイムスケジュールの確認を行うこと		
	27 28	課題: 認定こども園				必要提出資料の確認を行うこと		
	29 30	課題: 認定こども園 プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」				必要提出資料の確認を行うこと		
	評価方法	(1)テーマに沿った計画力 (2)モデルの再現力 (3)必要資料の精度 (4)プレゼンにおける伝える力 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		計画力	○	○	○			30%
		再現力	○	○	○			30%
		精度	○	○	○			30%
		伝える力	○	○	○			10%
	履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を認めない。						

科目名	Revit II						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	笠 真由美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築CAD科 2年						
授業概要	前期で学んだ基本操作をもとに課題作成に取り組みます。 Revit操作の習熟を通してBIM設計に必要な技術と建築計画の手順を学びます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				企画設計として、Revitによる平面計画のモデリングができる。	
	○	○				企画設計として、Revitによる外観パースの作成ができる	
	○	○				企画設計として、Revitによるシート設定と図面の書き出し／読み込みができる。	
	○	○				基本設計として、Revitによる平面図・断面図・面積表を作成することができる。	
	○	○				基本設計として、Revitによるシート設定と図面の書き出し／読み込みができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント 初めてのRevit & Revit LT 実践BIM入門ガイド Autodesk Revit 2018 トレーニングテキスト(参考)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【企画設計】計画条件/ボリューム検討				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	2	【企画設計】プラン作成/面積確認				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	3	【企画設計】平面計画①・・・通り芯・柱・基礎				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	4	【企画設計】平面計画②・・・基礎梁・壁・位置調整				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	5	【企画設計】平面計画③・・・バルコニー・廊下・床・建具				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	6	【企画設計】平面計画④・・・上階作成・屋根・階段・				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	7	【企画設計】平面計画⑤・・・外構・その他				データの提出を求めます。未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。	
	8	【企画設計】外観パース作成・・・カメラ・レンダリング・ビューの保存				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	9	【企画設計】シート設定と図面の書き出し／読み込み				レイアウト図面の提出を求めます。未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。	
	10	【基本設計】各階平面図作成①・・・間取りの作成・部屋の配置・ドア				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	11	【基本設計】各階平面図作成②・・・設備・天井・上階の作成				データの提出を求めます。未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。	
	12	【基本設計】各階平面図作成③・・・寸法・各階調整・ビューの確認				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	13	【基本設計】断面図作成・・・断面線・ビューの確認				データの提出を求めます。未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。	
	14	【基本設計】面積表作成				繰り返しの練習が大切です。授業内容を復習しましょう。	
	15	【基本設計】シート設定と図面の書き出し／読み込み				レイアウト図面の提出を求めます。	
評価方法	(1)課題の提出状況 (2)課題作成の正確さ 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	企画設計 モデリング	○	○				20%
	企画設計 外観パースの作成	○	○				20%
	企画設計 シート設定と図面の書き出し／読み込み	○	○				20%
	基本設計 平面図・断面図・面積表の作成	○	○				20%
	基本設計 シート設定と図面の書き出し／読み込み	○	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合、提出課題が未提出の場合は履修単位を与えない。						

科目名	就職実務ⅡB							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	各クラス担任	
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 ・ 建築学科(昼) 2年 建築工学科 3年							
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 就職活動における作品集作成や履歴書記入方法など、社会人になる上でのスキルを身につける。							
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
		○				就職活動における企業研究が行うことができる		
		○				自己分析を行うことができる		
		○				作品集を作成し就職活動ができる		
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック 社会人研修ノート							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	3	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	4	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	5	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	6	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	7	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達						
	8	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	9	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	10	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	11	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	12	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	13	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	14	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習						
	15	社会人研修						
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	受講態度・意欲		○				30%	
	課題の提出		○				70%	
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする							

科目名	キャリア教育(選択)											
科目名(英)												
単位	2単位			時間数		30時間		担当者		各クラス担任		
実施年度	2020年度			実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	建築CAD科 2年											
授業概要	企業が求める人材を把握し、就職活動を円滑に進めるための意識付けと、求職票・履歴書の具体的な書き方や面接対策など、そのまま就職活動に活かせる実践的な演習を中心に授業を進めていく											
授業形式	講義: △			演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				自己分析を基に、自己PRをまとめることができる						
	○	○				企業の目線を意識した志望動機を書くことができる						
	○	○				面接時の基本的なマナーが身につく、問題なくふるまうことができる						
	○	○				面接官の質問に対し、問題なく受け答えができる						
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	就職活動のための準備 ガイダンス										
	2	求職票の書き方 「自己PR」の書き方							自己の強みと弱みについて自分なりに自己分析しておくこと			
	3	求職票記入 下書き・添削										
	4	履歴書の書き方 「学生時代に力を入れたこと」「志望動機」など							自己の学生時代の経験、また希望企業への志望動機を自分なりに考えておくこと			
	5	求職票受付面接について 概要説明										
	6	求職票受付面接練習 入退室・立ち居振る舞い・おじぎ							授業内で学習したマナーは日常生活の中でも意識して行うこと			
	7	求職票受付面接練習 面接官の視点・第一印象について										
	8	求職票受付面接練習 質問と答え方、正しい敬語の使い方 ①										
	9	求職票受付面接練習 質問と答え方、正しい敬語の使い方 ②										
	10	求職票受付面接練習 通して実践練習										
	11	求職票受付面接練習 通して実践練習										
	12	求職票受付面接練習 通して実践練習										
	13	企業研究 実際に合同企業説明会・セミナーに参加							参加する企業について、事業内容、事業規模等事前に調べておくこと			
	14	企業研究 実際に合同企業説明会・セミナーに参加										
	15	いろいろな報告書の書き方 ビジネス文書の作成							学んだ文書の書き方について復習しておくこと			
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	受講態度・意欲		○		○						30%	
	課題の提出		○		○						70%	
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする											

科目名	建築士対策(製図)						
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING						
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	今泉 清太
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	建築CAD科 ・ 建築学科(昼) 2年						
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 木造建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。						
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△	○				方眼紙を読む力がある(m ² 計算や畳数)が瞬時計算ができる。	
	○	○				木造建築の課題の特徴、出題傾向が説明できる。	
	○	○				各構造の矩計図、断面図の理解し、各部の名称が答えられる。	
		○				建築士2次試験問題を限られた時間で描ける	
テキスト・教材 参考図書	総合資格 2級建築士 設計製図 テキスト						
	1	共通項目 設計製図試験の概要 試験の制度 特徴とポイント				(2級建築士試験) 設計製図テキスト自己採点表配布、事前確認、減点項目を知っておく。	
	2	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセット				製図道具、用紙	
	3	共通項目 設計製図試験の概要 最近の出題傾向 関連法規				高齢者対応について 建築基準法法令集持参確認	
	4	木造 木造専用住宅 構造計画、配置計画と外部動線、平面計画				表現方法テキストで確認	
	5	木造 木造専用住宅 ケーススタディ 課題文の読み取り				表現方法テキストで確認	
	6	木造 要求図面 1階平面図兼配置図と2階平面図				表現方法テキストで確認	
	7	木造 要求図面 立面図 断面図				表現方法テキストで確認	
	8	木造 要求図面 2階床伏図兼1階小屋伏図				表現方法テキストで確認	
	9	木造 要求図面 部分詳細図				表現方法テキストで確認	
	10	チャレンジ課題① 課題読み合わせ ポイントライン引き				色鉛筆 蛍光ペン準備	
	11	チャレンジ課題① エスキース				色鉛筆 蛍光ペン準備	
	12	チャレンジ課題① エスキース				色鉛筆 蛍光ペン準備	
	13	チャレンジ課題① 作図演習				表現方法テキストで確認	
	14	チャレンジ課題① 作図演習				表現方法テキストで確認	
	15	チャレンジ課題① 作図演習				表現方法テキストで確認	
	16	チャレンジ課題① 作図演習				表現方法テキストで確認	
	17	チャレンジ課題① 作図演習、解説				解説復習	
	18	チャレンジ課題② エスキース				表現方法テキストで確認	
	19	チャレンジ課題② エスキース				表現方法テキストで確認	
	20	チャレンジ課題② 作図演習				表現方法テキストで確認	
	21	チャレンジ課題② 作図演習				表現方法テキストで確認	
	22	チャレンジ課題② 作図演習				表現方法テキストで確認	
	23	チャレンジ課題② 作図演習				表現方法テキストで確認	
	24	チャレンジ課題② 作図演習、解説				解説復習	
	25	チャレンジ課題③ エスキース				表現方法テキストで確認	
	26	チャレンジ課題③ エスキース				表現方法テキストで確認	
	27	チャレンジ課題③ 作図演習				表現方法テキストで確認	
	28	チャレンジ課題③ 作図演習				表現方法テキストで確認	
	29	チャレンジ課題③ 作図演習				表現方法テキストで確認	
	30	チャレンジ課題③ 作図演習、解説				解説復習	
評価方法	課題の提出を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	チャレンジ課題	○	◎				100%
履修上の注意	出席率60% 未満者 単位付与しない。						

科目名	建築士対策（計画）									
科目名(英)	Architectural Planning									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		森行 美枝	
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験		建築設計事務所にて設計・監理業務担当	
対象学科・学年	建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 ・ 建築学科(昼) 2年 建築工学科3年									
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備									
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。				
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。				
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。				
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。				
	○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市においての役割など、正解を選択できる。				
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築計画 総合資格 厳選問題集500＋100。									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	第1章 気候								
	2	第2章 伝熱・結露					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	3	第3章 日照・日射・採光 第4章 音響					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	4	第5章 色彩					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	5	第6章 環境工学融合					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	6	第7章 空気調和設備					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	7	第8章 給水設備					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	8	第9章 排水衛生設備					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	9	第10章 電気・照明設備					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	10	第11章 消火・防災設備					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	11	第12章 設備融合					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	12	第13章 建築史 第14章 計画一般					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	13	第15章 住宅					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	14	第16章 商業建築 第17章 公共建築					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	15	第18章 地域計画 第19章 各論融合					今までの復習プリントで復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		○	○				90点		
	復習問題		○	○				10点		
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。									

科目名	建築士対策（法規）						
科目名(英)	Building regulations						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今泉 清太		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 ・ 建築学科(昼) 2年 建築工学科3年						
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	△			法令集の準備が完了している。使用方法が理解している。	
	○	○				面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
	○	○				法令集を使用して、各章の答えを導かせることができる。	
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築法規 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 総則 用語の定義 面積・高さ等の算定方法					
	2	第1章 総則 確認済証の交付				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第1章 総則 手続き等(中間検査等)				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第2章 一般構造等 一般構造 建築設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第3章 構造強度				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第4章 防火関係 防火構造等 法22条区域内の建築物				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第4章 防火関係 耐火・準耐火建築物 防火・準防火地域				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第4章 防火関係 防火区画・間仕切壁 内装制限等				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第5章 都市計画区域等の制限 道路・壁面線				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第5章 都市計画区域等の制限 用途地域				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第5章 都市計画区域等の制限 容積率・建ぺい率				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第5章 都市計画区域等の制限 高さの制限 日影規制				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第6章 雑則				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第7章 その他の関係法令 バリアフリー法 耐震改修促進法				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第7章 その他の関係法令 建築士法 都市計画法 その他				今までの復習プリントで復習	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（構造）									
科目名(英)	Building construction									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		黒木 文雄	
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験		設計事務所で構造設計に従事。	
対象学科・学年	建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 ・ 建築学科(昼) 2年 建築工学科3年									
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料 概要。									
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				工事契約の仕組みを理解し、過去の建築士問題が解ける				
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける				
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける				
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける				
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。				
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築構造 総合資格 厳選問題集500＋100。									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	第1章 構造物と力					第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく			
	2	第2章 静定構造物の応力					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	3	第3章 特定トラスの応力					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	4	第4章 断面の性質					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	5	第5章 応力度と許容応力度					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	6	第6章 変形と不静定構造物					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	7	第7章 荷重・外力					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	8	第8章 地盤と基礎構造					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	9	第9章 木構造					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	10	第10章 鉄筋コンクリート構造					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	11	第11章 鉄骨構造					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	12	第12章 その他の構造					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	13	第13章 構造設計					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	14	第14章 建築材料					復習問題で復習プリントは次回までに提出 解説と一緒にファイリング			
	15	第14章 建築材料					今までの内容を復習する			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		○	○				80%		
	復習問題		○	○				20%		
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・									

科目名	建築士対策（施工）									
科目名(英)	Building Construction									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		集路 正巳	
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験		総合建設会社にて、主に施工管理職として勤務	
対象学科・学年	建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 ・ 建築学科(昼) 2年 建築工学科3年									
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。 工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約									
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける				
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける				
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける				
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける				
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。				
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅳ施工									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	第1章 工事契約								
	2	第2章 工事監理・施工業務					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	3	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	4	第5章 土工事・基礎地業工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	5	第6章 鉄筋コンクリート工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	6	第7章 鉄骨工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	7	第8章 コンクリートブロック工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	8	第9章 木工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	9	第10章 防水・屋根工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	10	第11章 左官工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	11	第12章 タイル・張石工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	12	第13章 塗装工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	13	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	14	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	15	第18章 用語・機械 第19章積算					今までの内容を復習する			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		○	○				80%		
	復習問題		○	○				20%		
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・									

科目名	卒業制作Ⅱ							
科目名(英)								
単位数	6単位		時間数	90時間	担当者	三池 剛士		
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築CAD科 2年							
授業概要	専攻ゼミⅡで選択した専門知識及び前期の卒業制作授業の知識等から、修得した建築や造形デザインの知識、技術、センスを活かして、その集大成を研究をとおして卒業設計・論文にまとめる。建築・造形という分野の中で研究の意義を熟考した上でテーマを選定し、担当教員の助言・指導のもと調査・研究を進める。成果は最終的に作品パネルや模型あるいは研究論文としてまとめ、研究発表を行う。							
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					本学におけるこれまでの学習の成果を確認できる。		
	○					テーマ設定、資料収集、リサーチ、構想、計画、制作、検証といった一連の活動に主体的に取り組むことができる		
	○					前述の一連の活動を通じ、自分の意見を相手に伝えられるようになる。また、そのことで自分自身のコミュニケーション能力や、考察力を確立できる。		
	○					卒業制作を通して、設計者、技術者、研究者として必要となる洞察力や表現力を身につけることができる。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1 2 3	全体および卒業研究グループでのオリエンテーション						
	4 5 6	課題設定				授業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	7 8 9	卒業研究 敷地決定 建築デザイン講義				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	10 11 12	卒業研究 エスキース講義 プラン作成				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	13 14 15	卒業研究中間発表 作品発表講評会				講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげることに。		
	16 17 18	作品作成				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	19 20 21	卒業研究中間発表 作品発表講評会				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	22 23 24	卒業研究 A1レイアウト				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	25 26 27	作品作成				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	28 29 30	卒業研究中間発表 作品発表講評会				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	31 32 33	作品作成				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	34 35 36	卒業研究最終発表作品発表講評会				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	37 38 39	中間発表 ポスターセッション				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	40 41 42	プレゼンテーション1				講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげることに。		
	43 44 45	最終発表、講評、審査				講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげることに。		
	評価方法	出課題作品の完成度とプレゼンテーションの出来栄によって評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		課題作品	○	◎				80%
		エスキスチェック	○	○				10%
		発表	○	○				10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	検定対策ゼミB(選択)インテリアコーディネーター						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	赤星 亜美
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	オーダー家具制作会社でインテリアコーディネーターとして勤務
対象学科・学年	建築CAD科 2年						
授業概要	インテリア産業協会主催インテリアコーディネーター検定対策の学習を通して、建築概要とインテリアコーディネーター知識のより専門的な知識の習得を図る						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				インテリアコーディネーター一次試験合格レベルの知識を身につけることができる	
	○	○				インテリアコーディネーター二次試験合格レベルの知識を身につけることができる	
テキスト・教材 参考図書	テキスト: インテリアコーディネーター合格教本(上・下) インテリアコーディネーター問題集(上・下) その他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	15章 建築関連法規					
	2	8章 各種エレメント				予習・復習することを心がける。	
	3	16章 消費者関連法規				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	4	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	5	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	6	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	7	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	8	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	9	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	10	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	11	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	12	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	13	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	14	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
	15	模擬試験				前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。	
評価方法	(1)小テストを各章が修了した次の授業で実施する。(2)20回目から宿題あり。(3)全国模試を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	全国模試	○					50%
	小テスト	○					25%
	宿題	○					25%
履修上の注意							

科目名	検定対策ゼミB(選択) 宅地建物取引士									
科目名(英)										
単位数	2単位			時間数	30時間			担当者	森行 美枝	
実施年度	2020年度			実施時期	後期			担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務担当	
対象学科・学年	建築CAD科 2年									
授業概要	宅建試験の合格も視野に、試験の問題演習を通して、建築物を取引する不動産権利取引に関する知識を修得する。それにより、建築物の財産的価値の重要性を認識できる視点を養う。後期は特に重要ポイントを絞り込んだ総合的な演習も盛り込む。									
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				宅建業の業務内容と役割の特に重要な部分について、関連条文の規定を用いて説明できる				
	○	○				宅地建物取引士の実務における重要事項を条文規定を用いて正しく説明できる				
	○	○				民法の権利義務関係について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる				
	○	○				不動産取引手続きに関する問題について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる				
					○	宅地建物取引士資格試験合格				
テキスト・教材 参考図書	出る順 宅建士 ウォーク問過去問題集2018年版①～③ 【東京リーガルマインド】									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	用語の定義／免許制度／宅建士制度営業保証金／保証協会／媒介契約等の規制					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	2	重要事項の説明／37条書面 8種制限／業務上の諸規制／監督・罰則／単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと			
	3	報酬／住宅瑕疵担保履行法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	4	制限行為能力者／意思表示／代理時効／不動産物権変動／物権関係					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	5	抵当権／保証・連帯保証／連帯債務債権譲渡／債務不履行と解除／弁済・相殺／売買／単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと			
	6	借地借家法/借地借家法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	7	区分所有法／不動産登記法／単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと			
	8	都市計画／開発許可制度/建築基準法(単体規定・集団規定)／ 宅地造成等規制法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	9	土地区画整理法／農地法/国土利用計画法／諸法例					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	10	国土利用計画法／諸法例/不動産取得税／固定資産税					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	11	不動産譲渡所得／登録免許税／印紙税／贈与税					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	12	地価公示法／不動産鑑定評価基準／単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと			
	13	住宅金融支援機構／景品表示法/土地／建物／統計					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	14	全国模擬試験①					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
	15	全国模擬試験②					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
評価方法	(1)単元テスト(2)模擬試験(3)宅地建物取引士資格試験の点数で評価する 成績評価基準は、平均正答率 S(90%以上)・A(80%以上)・B(70%以上)・C(60%以上)・D(59%以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	単元テスト		○	○				40%		
	模擬試験		○	○				40%		
	宅地建物取引士資格試験						○	20%		
履修上の注意	難しい法律用語が多々出てくるので、用語の意味をその都度細かく確認すること									

科目名	検定対策ゼミB(選択)2級建築施工管理技士資格試験									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		集路 正巳	
実施年度	2020年度		実施時期		後期		担当者実務経験		総合建設会社にて、主に施工管理職として勤務	
対象学科・学年	建築CAD科 2年									
授業概要	前期ゼミでは、本。試験(学科)に対応できる知識を身につける事に重点を置きました。 後期ゼミでは、11月の本試験合格を視野に、過去問題演習を中心に実力(正解率60%以上)を身につけていきます。また、模擬テスト(3回以上)を実施し弱点を洗い出し得点力アップを目指します。									
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				建築施工に関する専門用語の意味を正しく説明できる。				
	○	○				過去問の平均正解率60%以上を獲得できる。				
	○	○				模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。				
テキスト・教材 参考図書	①. 2級建築施工管理技士要点テキスト(2020年度版)市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集(2020年度版)市ヶ谷出版社									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	実力確認テスト／本試験の概要説明など					・後期ゼミは演習中心となります。 問題解説は数が限られてしまうため、必ず自分で(解説書を)確認してください。 ・宿題がほぼ毎回出ます。必ず、消化してゆく事。(弱点の洗い出しに役立ちます)			
	2	過去問題演習・解説01								
	3	過去問題演習・解説02								
	4	過去問題演習・解説03								
	5	過去問題演習・解説04								
	6	過去問題演習・解説05								
	7	模擬テスト①								
	8	過去問題演習・解説06								
	9	過去問題演習・解説07								
	10	過去問題演習・解説08								
	11	過去問題演習・解説09								
	12	過去問題演習・解説10								
	13	過去問題演習・解説11								
	14	模擬テスト②								
	15	直前模擬テスト③								
評価方法	(1)授業中に小テストを実施する。(2)模擬テスト(3回程度)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	模擬テスト	○	◎				70%			
	小テスト	○	◎				30%			
履修上の注意	出席が総コマ数の2/3に満たない場合には、単位を与えない。また、ゼミ受講に対する意欲が感じられないと判断した場合は、ゼミへの出席停止を指示する事がある。									

科目名	数学ゼミⅡB						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	吉田 麻美
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 ・ 建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 2年						
授業概要	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す						
授業形式	講義： △		演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				正三角形・二等辺三角形の性質と条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				三角形の合同条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				平行四辺形の性質と条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				三角形・四角形の性質と条件を利用した応用問題が解ける	
	○	○				三角形と四角形を用いた証明問題が解ける	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【演習問題】 三角形と四角形 正三角形・二等辺三角形の性質と条件				解答出来なかった問題は必ず復習・解答の上再提出すること。また、理解できなかった問題は質問事項を記入して担当教員に提出すること。	
	2	【演習問題】 三角形と四角形 直角三角形の合同条件					
	3	【演習問題】 三角形と四角形 平行四辺形の性質と条件					
	4	【演習問題】 三角形と四角形 特別な平行四辺形					
	5	【演習問題】 三角形と四角形 面積が等しい三角形					
	6	【演習問題】 三角形と四角形 空間図形の中の三角形と四角形					
	7	【演習問題】 三角形と四角形 証明問題まとめ					
	8	【演習問題】 三角形と四角形 総合復習・まとめ					
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講態度・意欲	○	○				30%
	課題の提出	○	○				70%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名	BIM 専攻ⅡB(選択)						
科目名(英)	Building Information ModelingⅡB						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	道脇 力
実施年度	2020年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	建築工学科 ・ 建築CAD科 ・ 建築学科(昼) 2年						
授業概要	・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○	○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。	
			○			BIMワークフローにより効率よく設計ができる。	
		○	○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	課題:複合ビル「制作②」				情報、資料収集を行うこと	
	2	課題:複合ビル「制作③」				情報、資料収集を行うこと	
	3	課題中間報告(発表)				発表資料の確認を行うこと	
	4	課題:複合ビル「制作④」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	5	課題:複合ビル「制作⑤」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	6	課題:複合ビル「制作⑥」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	7	課題:複合ビル「制作⑦」				必要提出資料の確認を行うこと	
	8	課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」				必要提出資料の確認を行うこと	
評価方法	(1)発表・作品 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		◎				50%
	課題提出		◎				50%
履修上の注意	出席が60%に満たない場合は、単位を認めない。						